注１　1,000MHz未満の周波数範囲で参照帯域幅が１MHzで規定されている技術基準の測定を行う場合であって、分解能帯域幅を１MHzにできないときは、次の㋐から㋒までを用いて判定する。

㋐　９kHzから150kHzまでの範囲は、－33dBm／１kHzを用いる。

㋑　150kHzから30MHzまでの範囲は、－23dBm／10kHzを用いる。

㋒　30MHzから1,000MHzまでの範囲は、－13dBm／100kHzを用いる。

注２　1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下を除く。

エ　ビデオ帯域幅　　分解能帯域幅の３倍程度

オ　掃引時間　　測定精度が保証される最小時間

カ　Ｙ軸スケール　　10dB／Div

キ　入力レベル　　最大のダイナミックレンジとなる値

ク　掃引モード　　単掃引

ケ　検波モード　　サンプル

3　試験機器の状態

⑴　試験周波数を連続受信及び連続送信できる状態にする。

⑵　試験機器の出力レベルが調整できるものにあっては、出力が最大になるように設定する。

4　測定操作手順

⑴　スペクトル分析器の設定を２⑶とし、各掃引周波数幅ごとに不要発射を探索する。ただし、送信周波数帯域内及び送信周波数帯域端から10MHz未満の範囲を探索から除外するとともに、1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下の周波数帯にあっては、この限りでない。

⑵　探索した不要発射の振幅値が許容値以下の場合は、探索値を測定値とする。

⑶　探索した不要発射の振幅値が許容値を超えた場合は、スペクトル分析器の中心周波数の設定精度を高めるため、周波数掃引幅を100MHz、10MHz及び１MHzのように分解能帯域幅の10倍程度まで順次狭くして、不要発射周波数を求める。

⑷　次に、スペクトル分析器の設定を２⑷とし、掃引終了後、全データ点の値をコンピュータに取り込み、全データを電力次元の真数に変換し、平均を求めてそれをdBm値に変換し、不要発射の振幅値とする。

5　試験結果の記載方法

⑴　結果は、上記で測定した不要発射の振幅値を技術基準で定められた単位を用いて、各帯域幅当たりの絶対値で、周波数とともに記載する。

９kHz以上150kHz未満　　：dBm／１kHz

150kHz以上30MHz未満　　：dBm／10kHz

30MHz以上1,000MHz未満　　：dBm／100kHz

1,000MHz未満（注１）　　：dBm／１MHz

1,000MHz以上12.75GHz未満（注２）：dBm／１MHz

1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下　　：dBm／300kHz

注１　800MHz帯に限り、1,000MHz未満の周波数範囲で参照帯域幅が１MHzで規定されている技術基準の測定を行う場合。

注２　1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下を除く。

⑵　結果を複数記載する場合は、許容値の帯域ごとにレベルの降順に並べ周波数とともに記載する。

6　その他の条件

⑴　４⑶で測定した場合は、スペクトル分析器のＹ軸スケールの絶対値を電力計及び信号発生器を使用して確認すること。

⑵　スペクトル分析器の検波モードのサンプルの代わりにＲＭＳを用いることができる。

⑶　搬送波抑圧フィルタを使用する場合は、フィルタ特性を考慮して測定値を補正すること。

⑷　２⑷において、探索した不要発射周波数が1,884.5MHz以上1,915.7MHz以下の周波数範囲の境界周波数から参照帯域幅の１／２以内の場合は、中心周波数を境界周波数から参照帯域幅の１／２だけ離調させた周波数とする。

| 探索した不要発射周波数 | 中心周波数 |
|---|---|
| 1,884.50MHzから1,884.65MHzまで | 1,884.65MHz |
| 1,915.55MHzから1,915.70MHzまで | 1,915.55MHz |

⑸　搬送波近傍等において、スペクトル分析器の分解能帯域幅のフィルタの特性によって、測定値が搬送波等の影響を受ける場合には、分解能帯域幅を参照帯域幅より狭い値として測定し、参照帯域幅内の電力を積算して測定値とすることができる。

六　スプリアス発射又は不要発射の強度（上り）

1　測定系統図

五の項の１に同じ。

2　測定器の条件等

⑴　搬送波抑圧フィルタは、必要に応じて使用する。

⑵　信号発生器１及び２の設定は、五の項の２に同じ。

⑶　不要発射探索時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア　掃引周波数幅及び分解能帯域幅は、各試験周波数帯に応じて次表のとおりとする。

| 試験周波数帯 | 掃引周波数幅 | 分解能帯域幅 |
|---|---|---|
| 700MHz帯 | ９kHzから150kHzまで | １kHz |
| | 150kHzから30MHzまで | 10kHz |
| | 30MHzから1,000MHzまで（注１） | 100kHz |
| | 1,000MHzから12.75GHzまで | １MHz |
| 800MHz帯（注３） | ９kHzから150kHzまで | １kHz |
| | 150kHzから30MHzまで | 10kHz |
| | 30MHzから1,000MHzまで（注１、注２） | 100kHz |
| | 815MHzから845MHzまで | 100kHz |
| | 1,000MHzから12.75GHzまで | １MHz |
| 900MHz帯 | ９kHzから150kHzまで | １kHz |
| | 150kHzから30MHzまで | 10kHz |
| | 30MHzから1,000MHzまで（注１、注４） | 100kHz |
| | 860MHzから890MHzまで | １MHz |
| | 1,000MHzから12.75GHzまで | １MHz |
| 1.5GHz帯、1.7GHz帯及び２GHz帯 | ９kHzから150kHzまで | １kHz |
| | 150kHzから30MHzまで | 10kHz |
| | 30MHzから1,000MHzまで | 100kHz |
| | 1,000MHzから12.75GHzまで（注１、注５） | １MHz |
| | 1,884.5MHzから1,915.7MHzまで | 300kHz |